

## 2023 年度特定研究奨励金 報告書

### 報告者所属・氏名

所属	食生活科学科	氏名	辛島順子
----	--------	----	------

### 奨励金による研究活動・実績（具体的に記載）

<p>・研究活動</p> <p>成人期後半から高齢期前半のヘルスリテラシーと生活習慣の関連を明らかにすることを目的として、以下の調査を実施した。</p> <p>対象者：1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）に居住している55歳～74歳の者 800名</p> <p>調査方法：インターネット調査（株式会社クロス・マーケティングに委託）</p> <p>実施期間：2023年9月</p> <p>調査内容：基本属性・Communicative and Critical Health Literacy (CCHL)・主観的健康感・主観的満足感・健康に関する日常生活の心掛け・食品摂取の多様性・食生活状況・生活習慣・ソーシャルサポート 健康管理のための情報源等</p> <p>結果：成人期後半（男性200名・女性200名、59.6±2.9歳）と高齢期前半（男性200名・女性200名、69.6±3.0歳）から回答を得られた。</p> <p>CCHLは、全ての項目で高齢期前半の方が高く、主観的健康感・主観的満足感も高齢期前半の方が高かった。高齢期前半の方が成人期後半と比較して健康に関する日常生活の心掛けや食品摂取の多様性、その他の生活習慣についてもよい傾向であり、適切なソーシャルサポートも受けていた。</p>
--

### ※2024.10.30 追記※

- ・実績 高齢期の低栄養予防を目的とした食習慣改善に対する関心度からみた生活習慣の課題, 2024年9月, 辛島順子, 第71回日本栄養改善学会学術総会